

令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 3月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

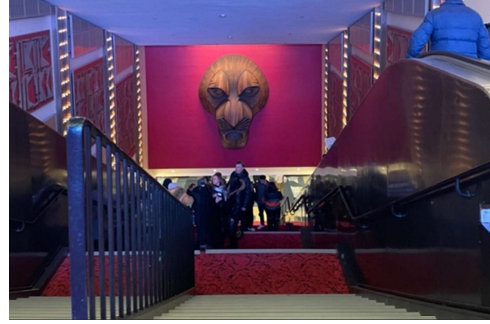
徐々に暖かい日も増え、春の訪れを感じています。私ごとですが、新しい（中古の）パソコンがついに届き、意気揚々とレポートを執筆しています。2月下旬から3月上旬にかけては春休みがあり、その他にもドラッグクイーンショーやアラビア文化体験旅行など盛りだくさんの月でした。今回は春休み、アラビア文化体験、ブラフトンでのプレゼンテーションについてご紹介します。

【春休み】

2月25日から3月5日まで春休みでした。アメリカ人学生の多くは帰省してしまうため、私は他の日本人留学生とニューヨーク旅行に行きました。旅行中激しい腹痛に襲われながらも、意地でニューヨークの観光地を巡りました。ニューヨークでは初めてアメリカの地下鉄に乗り、突然募金の呼びかけが始まったり、ストリートダンスが始まったりと予想通りのカオスさでしたが、THE ニューヨークな経験ができ面白かったです。今回の旅行の一番の目玉であったブロードウェイミュージカルのライオンキングは、スケール感や演者さんの歌声に終始鳥肌が立ちっぱなしでした。

旅行では楽しい場所にたくさん訪れましたが、一番印象的だったのは9.11ミュージアムです。私が生まれてすぐの出来事だったので、全く記憶がなく、過去の出来事として認識していましたが、ミュージアム前のモニュメントに添えてある花を見て、まだ事件によって苦しんでいる人がいることを感じました。ミュージアム内には事件当時の遺留品や映像が展示されており、見ていて辛くなりました。特に被害者が機内から残した留守番電話の音声や、避難を諦めてビルから身を投じる人の映像があまりにも衝撃的で涙が出そうになりました。大切な人と過ごせている時間がどれだけ貴重なのかを考えさせられたと同時に、絶対に事件を風化させてはいけないと思いました。展示の中には、テロリスト目線の展示や、事件後偏見によって差別されたシク教徒・イスラム教徒に関する展示もありました。様々な視点から事件を学ぶことができるため、ニューヨーク旅行の際にはぜひ訪れてほしいです。



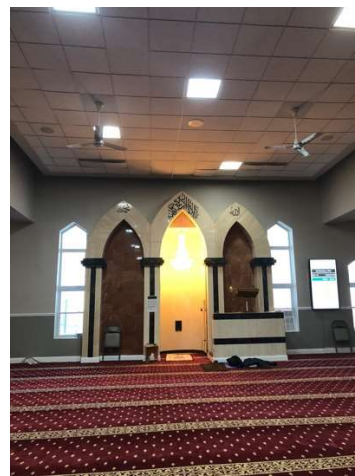


【アラビア文化体験】

3月17日から19日の3日間、大学内のビューフォードセンター主催のアラビア文化体験旅行でミシガン州のディアボーンに行きました。オハイオ州の隣にあるミシガン州はアメリカ国内でもアラビア系の人口密度が一番高い地域です。そのため、町中にアラビア文字の看板やアラビア料理のレストラン、モスクなどがあり興味深かったです。旅行ではモスク見学、アラビア料理レストラン、アラブ文化センター、アラブ移民支援センター、イエメンコーヒーショップなどに訪れました。また、ミシガン大学で開催された文化ショーケースにも招待され、アラブ文化だけでなく、フィリピンやラテン文化についても学ぶことができました。モスクでは、実際の礼拝の様子を見ることができ、すべての人が神の前では平等であるという教えの通り、年齢や服装が全く違う人々が一列になって礼拝を行なっている姿が印象的でした。また、モスクには体育館なども併設されており、人々が集まるコミュニティとしての働きも感じることができました。



イラク料理レストランで食べた
ケバブです。



モスクの内部の写真です。実際に
礼拝する場面を見ることが
できました。



支援センターでアラブの方々とブランケットを製作しました。



イエメンコーヒーとお茶のテイスティングをしました。

【ブラフトンでのプレゼンテーション】

埼玉県小川町の小川高校とブラフトン高校の新しいプログラムが始まるため、ブラフトン高校に招待していただき、埼玉県と小川町に関するプレゼンテーションを行いました。最初にプログラムに興味のある高校生に向けて、続いてブラフトンの学校教員や教育委員会の職員さんの前でプレゼンテーションを行いました。最初のプレゼンテーションは、少人数で高校生とともに和やかな雰囲気で行いましたが、2回目は学生が全くいない状況でのプレゼンテーションが初めてだったので、とても緊張しました。ガチガチのまま行いましたが、発表後に良かったよとお声がけいただき、嬉しかったです。このような形で新しいプログラムに微力ながら協力できとても光栄でした。プレゼンテーションを通して小川町について知ることができたので、帰国後はぜひ訪れてみたいです。



本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、miyaharay@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てれば幸いです。